

収支表

育子身

収支計算表

一反受当 但平均ヲ示ス

一 支出金 五拾壹月四拾五身

内訳

一 五月 五拾身

少作料

搦是 古年四拾九人 末古年四拾八人 合テ以テ
二身ノ少作料トス 三身作ノ計 三五ノ一ノ

一 五拾身

檀子科

一 五拾月 五拾身

肥料代

人最一ニ何拾身 桑身人 五身 五身 五身
更短ク之ヲ主肥トシテ用ル外ハ大ニ肥料ヲ用テ

一 五拾身 用七拾五身

人又賃

田方四十二人 一日 五身
廿一人 一日 五身

内訳

一 整地

男 三人

一 間引

男 五人

一 播付

男 二人
女 一人

一 施肥 男 八人

男 七人
女 五人

一 採收潤養 男五女五

一 販賣人夫 男二十人

一 土室門

農具 肥料

一 壹圓

驅除肥料

一 收入金八拾七圓四拾五兩

内訳

一 五十圓

上品 二十個

一個 平均二年五ノ

一 四十圓

中品 二十個

五 二年

一 四圓

下品 五百個

五

八厘

計金九拾四圓

内 六圓五拾八兩 同屋并敷料

一 採收潤製

男 五人
女 七人

一 販賣人夫

男 二十人

一 壹圓

農具 肥料

一 壹圓

驅除劑 料

一 收入金 八拾七圓 四拾五圓

内訳

一 五十圓

上品

二十個

一個

平均 二年五ノ

一 四十圓

中品

二十個

三

二年

一 四圓

下品

五百個

五

八厘

計金 九拾四圓

内 六圓 五拾八圓 厩舎牛敷料

野崎綱次郎

昭和39年4月28日（明治15年12月15日生 92才）

新 聞 日 朝

第3種郵便物認可

喜びの人 辞退の人

〈第一回生存者叙勲〉

第一回生存者叙勲対象者の氏名が二十八日発表さ
首相の吉田茂氏ただひとり。勲一等旭日大綬章には
代の首相や、田中耕太郎前最高裁長官の顔もみえる
業育成の親」である松水安左工門氏、勲二等瑞宝章
氏、勲三等旭日章には人間国宝の豊竹山城少掾（金
氏など各界の功労者が選ばれているが、半面、社会
ような「辞退組」もあった。なお東海地方の叙勲者
岡各四人の計十七人である。

品種改良に60年

中川区の
野崎さん
野崎白菜の生みの親



白菜の試験畑を見回る野崎綱次郎さん

野菜の品種改良に六十年…。多くの優良品種育成に尽した名古屋市中川区大幡郷町丸池、野崎綱次郎さん（左）は叙勲の知らせに「わたしのよくなものが…」とおどろきながらも大変な喜びと誇りささぐく仏前にすわってご父に報告していた。

野崎さんはいまも毎朝五時半には起きて自宅隣にある〇・五畝の試験畑を見回るのが日課。そまづくりをはじめたのは十三歳のときからだそうだ。亡父の徳四郎さんが日本ではじめて白菜づくりを手がけていたので、父について勉強した。高等小学校を卒業しただけで専門知識がなかったため、農業

雑誌や書物を読んで勉強。

「百姓が収益をあげるには、よい種を使って、よい品物をつくることが大切。種は作物の根幹だ」と考え、大正のはじめから白菜の品種改良のため交配をはじめた。

大正五年に、野崎白菜を作り出し、この普及につとめることもに、さらに品種改良の研究をつづけ、いままでに白菜は八種、サンランは十一種、花野菜は五種の新種をつくり出している。

昭和3年カタログ表紙



野崎白菜一號

本種は愛知白菜より偶然變異により作出したるものにして葉色淡綠愛知白菜よりも結球時期稍遅るれども草性强健にして豊産種なり肉質柔軟纖維少なく味の甘美なる事愛知白菜と異らず結球力旺盛にして徒葉少く殆んど全身球となる結球せる物は外葉二三枚を除けば純白美麗なる事他種に超越するを以つて市場に於て歡迎せられ市價毎に高し

播種時期は收穫時期及び氣候風土によりて定むべきものにして名古屋地方にては左の如し

收穫時期

播種時期

摘

要

九月上旬より

七月上旬

氣候冷涼にして乾濕適度の圃場に適す收量は多からざれ雖市價概ね高し

九月中旬より

七月中旬

全上

十月中旬より

八月中旬

品質優良の品を産し收量多し

十一月中旬より

八月下旬

全上

十二月中旬より

九月上旬

全上

一月中旬より

九月中旬

害虫の被害少くして栽培容易なれ品質收量稍々劣る

株間は一尺五寸畦間二尺を適度とし一株七八百匁の品を産す但し株間を廣くなせば壹貫五百匁以上の品を産す成績良好なれば反當收量二千五百匁を下らず

愛知白菜

一袋	二十錢	精撰
一合	二十五錢	特撰
一升	四十五錢	
一斗	三十六圓	

明治八年東京市博物館内開催の品評會へ清國より山東白菜三株の出品あり、其の内二株を本縣植物栽培所に交付を受け其後年々採種栽培され該種子を明治十八年縣内特志者に配付せらる、幸ひ本採種場全様配付を受け栽培せしに充分なる結球を見ざりしを以て遺憾に思ひ以來熱心に栽培採種に従事したるも當時は需用甚だ尠なく日清戰爭頃より急激に増加し他種に比し一段高價なる爲め栽培漸次増加し今日の盛況を呈するに至つたものである、實に本採種場は本種の改良元祖と稱するも決して過言に非らず、多年採種法に於ける人爲及自然淘汰の結果形狀、品質等山東白菜に比し多大の相違を來したる結果大正六年縣立農事試驗場に於て愛知白菜と命名されたのである。

今本種の性狀を列記すれば次の様である。

一、本種は結球白菜中早生種に屬し十一月上、中旬の早出用として栽培するに好適なる品種となす。

一、本種は白菜中生育期間短きを以て晩期下種するも容易に美球を收穫し得る特点あり。

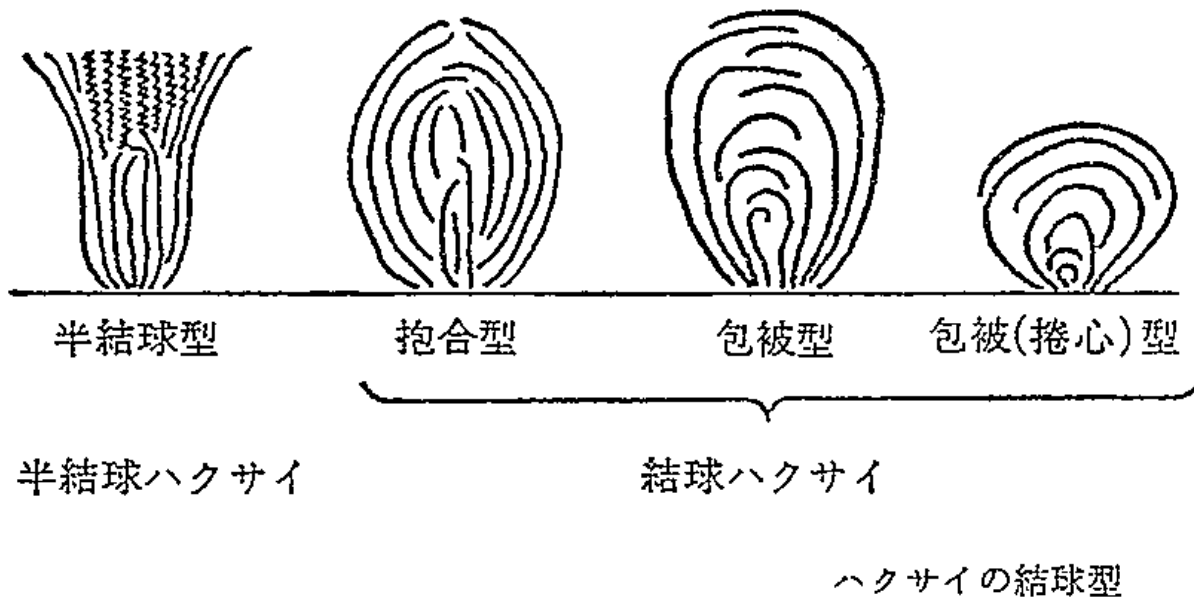
一、本種は白菜中結球容易にして抱合堅實内部は純白色に軟白し殊に頭部の抱合完全にして極めて美麗なり。

一、本種の球形は圓筒形若くは倒卵圓形にして一球大なるものは六、七百匁より一貫匁に達するも四、五百匁を普通とす。

一、本種の用途は漬物、煮食に適し又『サラダ』として生食するに用ひらる、殊に塩漬として食用若くは販賣するに

最適す

白菜の結球型



最新園芸大辞典第2巻より 誠文堂新光社

捲心系白菜



捲心系白菜苗 (毛じ無い)

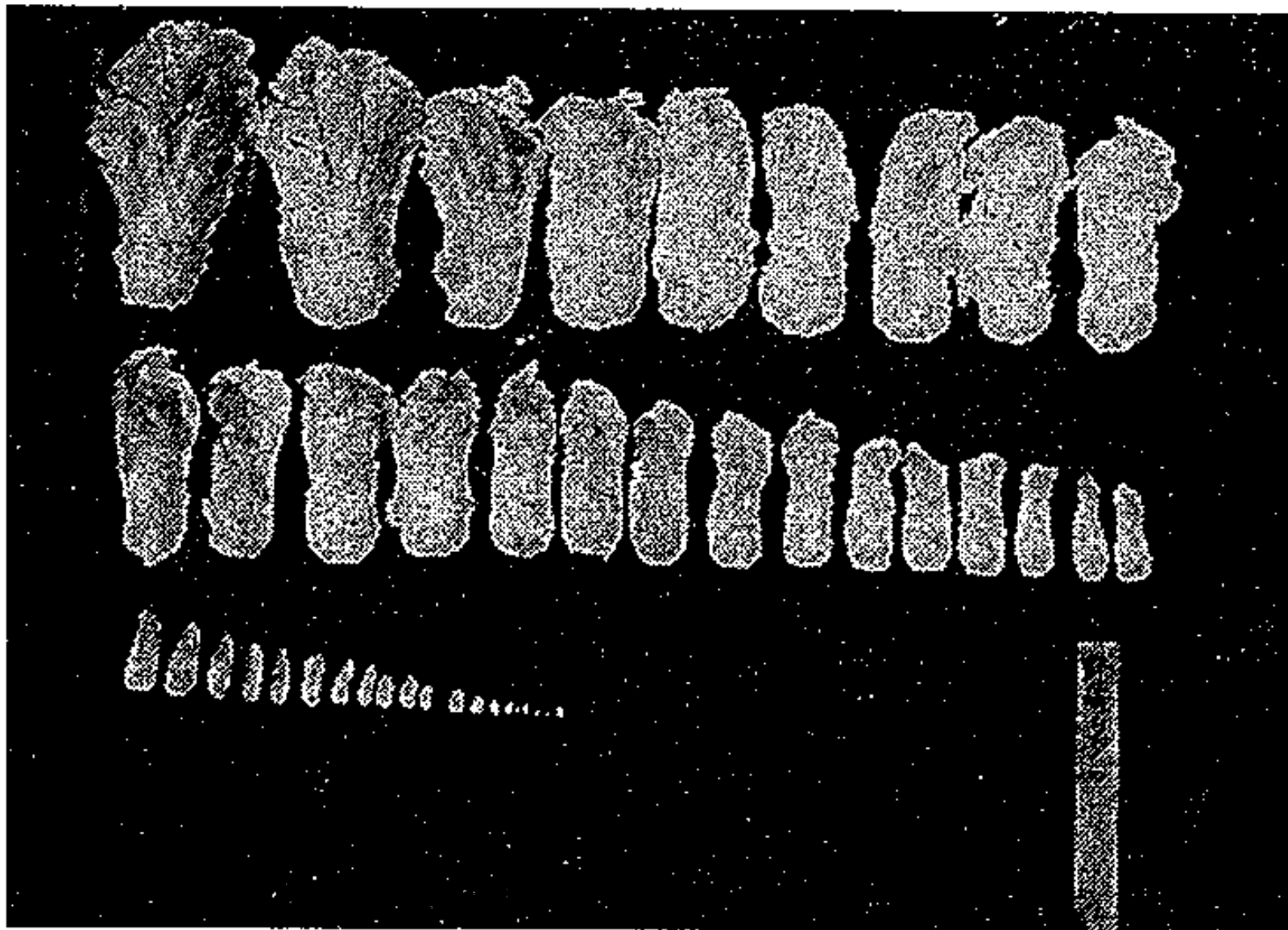


一般白菜の苗



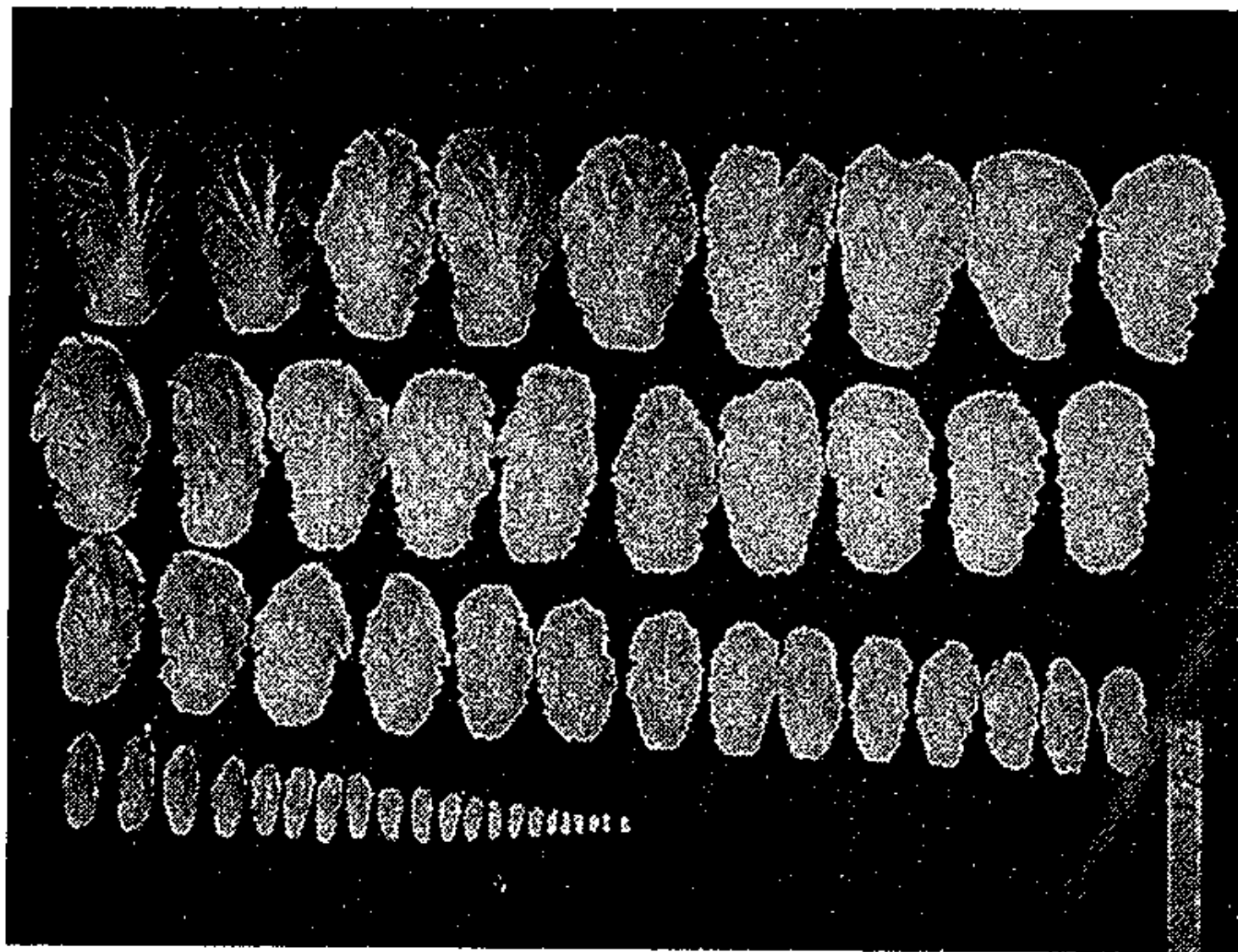
葉重型

野崎2号白菜 44枚



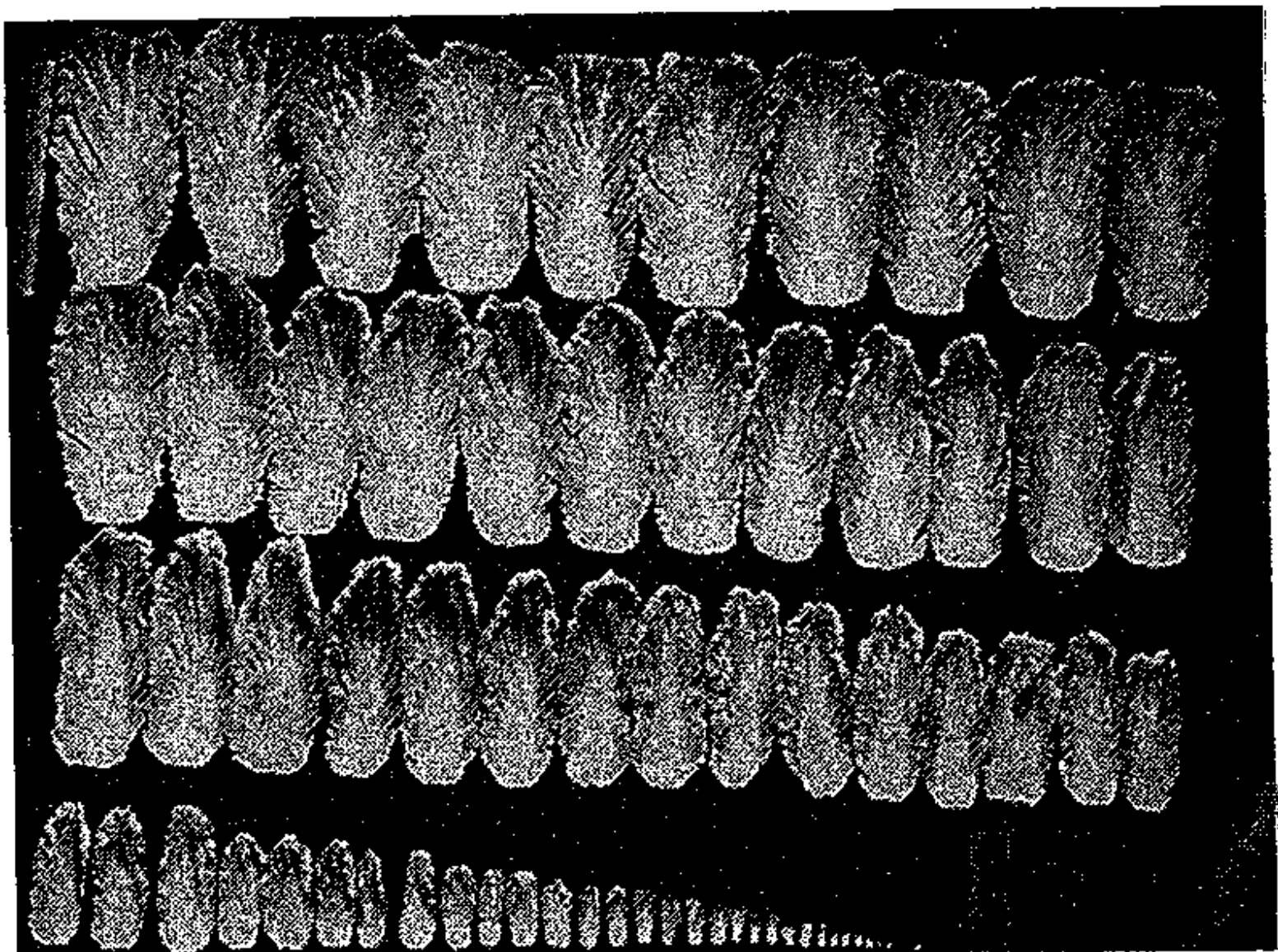
中間型

金沢加賀白菜 54枚



葉 数 型

平塚1号 69枚



白菜の花



蜂の交配



白菜の開花



白菜開花



白菜の結実

